



誰も 置き去りにしない 文京区政に

日本共産党 小林れい子

コロナは私たちの暮らしを一変させました。学校は休校になり、行事も中止、友だちとの会話も制限され、学びと成長の機会が奪われた子どもたち。非正規雇用が多く、仕事を失い収入が減るなど、経済的な打撃を受けた女性たち。特に若い女性は孤独に追い込まれがちで、自殺者も増加しました。女性相談やフードバンクには、子連れのシングルマザーも大勢参加しています。子どもや女性のいのちや暮らしを守るのは政治の責任です。経済格差が広がっている今こそ、誰も置き去りにしない区政をめざします。

暮らしを支える

ひとり親家庭を支える「子ども食堂」を支援してきました。コロナを経て、子ども食堂やフードバンクにつながるご家庭の数が倍増しています。月に数回のこれらの活動ではあまりに力



不足です。

物価高騰が家計を直撃している今こそ、いのちと暮らしを直接支える経済支援を充実させるべきです。

居住支援の充実を

長年住み慣れた文京区で暮らし続けたいという、高齢女性の引っ越しを手伝う中で、文京区には居住支援がまったく足りないことに気がきました。

国民年金や生活保護の住宅扶助費で暮らせる低家賃の家が見つかりません。

今こそ、シルバーピアや区営住宅などがが必要です。家賃補助も合わせて、早期実現をめざします。

PROFILE

- 1969年、福井県生まれ。お茶の水女子大学文教育学部卒。
- 編集者、ライター。女性雑誌の編集に携わったのち、フリーランスとして独立。子育て、料理、健康、医療などをテーマとする本の編集や記事を執筆してきた。
- 子ども虐待防止活動をライフワークとし、地域で「親子カフェ」や「子ども食堂」を運営するほか、児童養護施設で「料理教室」を行うなどの活動を続けてきた。
- 3.11後の福島原発事故をきっかけに、放射能から子どもを守る活動に携わる。
- 宇都宮けんじさんの「うつけんゼミ」1期生として、市民運動や人権問題などについて学ぶ。
- 夫は小日向に100年以上続く小林豆腐店の四代目・小林秀一。元ボクシングチャンピオン。子ども食堂「しゅうちゃんち」を運営。二児の母。二匹の保護猫と暮らす。
- 区議会議員1期。文教委員会、厚生委員会、子ども子育て調査特別委員会、自治制度・地域振興調査特別委員会、青少年問題協議会委員、文京アカデミー評議員。

みなさんの「願い」を区政へ

— この4年間に実現したこと —

コロナ対策

- ▶高齢者、障がい者、子どもの施設におけるPCR検査の拡充
- ▶「中小企業事業継続支援補助金」30万円（総額14億円）を実施
- ▶コロナ禍での東京五輪への子どもの集団観戦を中止に
- ▶全小中学校の教室にCO₂モニターを設置し、換気の徹底を
- ▶物価高騰の影響を受ける区内店舗への原材料費補助



区民施設が入る中央大学茗荷谷キャンパス

子育て

- ▶子どもの「国保料の均等割」を未就学児は半額に
- ▶子どもの「医療費の無償化」を18歳まで拡充
- ▶子どもへの給付金3万円（総額12億円）は所得制限なしで実施へ
- ▶中央大学茗荷谷キャンパスに認可保育園、育成室等を実現

教育

- ▶小中学校のトイレの洋式化と普通教室の改修完了
- ▶小学校における「少人数（35人）学級」の実現
- ▶コロナ禍の学びを止めない「オンライン授業」と「ICT支援員」の拡充
- ▶小中学校のトイレに生理用品を常備する
- ▶低年齢化する性暴力被害から子どもを守るための「生命の安全教育」が実現
- ▶不登校などの課題に対応。スクールカウンセラーの増員



大塚小学校は増築棟が完成

福祉

- ▶高齢者のインフルエンザ予防接種の無料化
- ▶補聴器購入費助成 ▶公衆浴場のクリーンエネルギー補助
- ▶75歳以上と住民税均等割のみの世帯へ給付金3万円（総額5億円）の拡充



総工費50億円の下水道管工事が完成

地域要望

- ▶75ミリ豪雨対策「千川増強幹線」工事が完成へ
- ▶大塚坂下通りのバリアフリー整備工事を実施中
- ▶大塚公園の滑り台は歴史的意匠を残す方向へ

子どもを守り、
未来へつなげる。

小林 れい子

文京区議会議員
53歳



9条生かした平和外交で
戦争と核のない世界を
日本共産党

『文京新聞』2023年新春号 文京新聞社発行（島元雅夫 文京区千石1-29-12）
日本共産党地区委員会は小林れい子の活動報告を次のように発表しました。

小林れい子の提案

区の貯め込み金 632億円の一部で **実現できます!**

区の保健所を2カ所体制に戻せ

3927人のコロナの新規陽性者がでた昨年のピーク時(7/30~8/7)には、自宅待機者の健康観察を民間会社へ委託するなど、文京区の保健所体制のよろさがはっきりしました(保健所費が23区中22位の低さです)。新たな感染症対策のため、保健所の人員増と2カ所から1カ所に減らされた保健所(本郷保健所)の復活が喫緊の課題です。

「学校給食費」の完全無償化を

学校給食費は、保護者の教育費の4割を占め、大きな負担です。葛飾区では、今年度から23区初の「給食費完全無償化」をスタートさせます(世田谷区や杉並区も検討中)。文京区でも7億円あれば実現できます。

理科室などの「特別教室」の改修を早く

シビックセンター改修には、128億円を投入、「年あたり50億円」かけて進めているのに、201室の「特別教室」の改修は後回しです。

「75歳以上の高齢者の窓口負担」ゼロへ

昨年10月から75歳以上の医療費は1割から2割負担へと2倍になりました。75歳以上の住民税非課税者の窓口負担はゼロへ。

シルバーピアや区営住宅をつくる

子どもの権利条例をつくる

ジェンダー平等の社会に

自民・公明が支える現区長の15年「**しぶる けずる かくす**」で貯め込んだ税金 **632億円** (一昨年度だけでも64億円を積み増し)

●切実な願いを「しぶる」

特養ホーム建設を「しぶり」、区内定員は633人。待機者は370人(22年10月現在)に達し、シルバーピア建設もゼロです。小中学校の理科室や図工室などの「特別教室」201室で老朽化が進行。改修も「しぶり」、完了したのはわずか1室のみです。

●区民サービスを「けずる」

現区長のもと、学童保育や図書館の民間委託や、交流館の廃止、学童保育の保育料の値上げ、区民サービスの削減など、「けずった」事業は20を超えました。

●余ったお金を「かくす」をくりかえす

「区財政は大変」と言い続ける当局。しかし、税収入は増え、ずっと黒字財政です。そのうえ、必要な区民施策までも削減し、余ったお金の一部(年間平均11億円)を、区は「かくし」、積立金に回し続けたのが、「632億円もの多額の貯め込み金」です。



23区で最も高い庁舎

地元からの声、全力で実現します。

特養や育成室への活用が提案されている「小日向2丁目国有地」は、憩いの広場や防災設備がある、地域に開かれた施設にしてほしい。

竹早公園やテニスコートとの一体化整備が予定されている「小石川図書館」。子どもから高齢者まで、一日中ゆったり過ごせる居場所にしてほしい。

1時間に1~2便しかバスが通らない「千川通り」。都バス上60の増便をしてほしい。

いまだ不備が多い「英語スピーキングテスト」の都立高入試への導入を中止してほしい。

「小日向台町小学校」は、歴史的価値を残しながら改築してほしい。改築期間中はできるだけ短縮して、工事期間中の子どもたちの教育環境を守ってほしい。

「大塚地域活動センター」の跡地は、中高生の居場所「ビーラボ」や「障がい児放課後デイ」などの複合施設にしてほしい。

大塚の「坂下通り」や千石などの交通不便地域を走る、B-ぐる第4路線の実現を!



小学校の特別教室を視察▶

小林れい子さんに期待します!



弁護士 宇都宮健児さん

小林れい子さんであればきっと、文京区議1期4年の経験を活かし、これまで以上に区民の声を区政に反映させ、区民によりそう文京区政を実現するためにがんばってくれるものと、確信しています。

ずっとジャーナリズムの世界で働いてきた小林さんが区議となって果たしてどんな活躍をするのか、と楽しみにしていましたが、結果は想像以上。びっくりしています。みなさん、2期目にさらに期待しましょう!



ジャーナリスト・武蔵大学教授 永田浩三さん

「がんになってもそのひとらしく生きられる社会を」と訴えたのは作家・柳原和子さん。柳原さんが最も信頼していたのが小林さんです。NHKのキャンペーンにもなりました。政治で何より大切なのは当事者の声。小林さんはそこから始まるひとです。

作家 白石一文さん



たくさんの料理本をともに作ってきた小林さん! ちゃんと食べて、ちゃんと生きる、そこを支えてくれる“食べ力(ぢから)”「人生100年時代」がんばれ日本! 暮らし、福祉の願いを託します。

料理研究家 村上祥子さん



小林れい子さんとは育児放棄の取材でお会いしました。取材させて頂き、自らを恥じました。真摯に取り組んでおられる姿勢に胸を撃たれました。余人をもって代えがたい区議さんだと確信致しました。

作家 赤松利市さん



作家 盛田隆二さん



「文京区に子どもの権利条例をつくる」は小林さんのマニフェストのひとつ。「学校給食費の無償化」とともに、ぜひ実現してほしい。区民のために労を惜しまず働くバイタリティあふれる小林さんを応援します。

ジェンダー

「子ども食堂」や「子育てカフェ」などの活動を通して子どもの人権を守り、また宇都宮けんじ弁護士の「うつけんゼミ」で働く女性の権利を学び、ジェンダー平等社会をめざして発言、行動してきた小林さんに、今後も期待します。

元国会議員 吉川春子さん



日本は男女の賃金格差が大きく、職場ではマタハラやセクハラ、家庭でのDVも深刻です。女性の地位向上を暮らしから。ひとりひとりを尊重する政治を実現して欲しい。小林さんに期待します!

弁護士 岡村晴美さん



福祉 環境 平和

子ども 子育て